

第 22 講 『 食欲不振 』

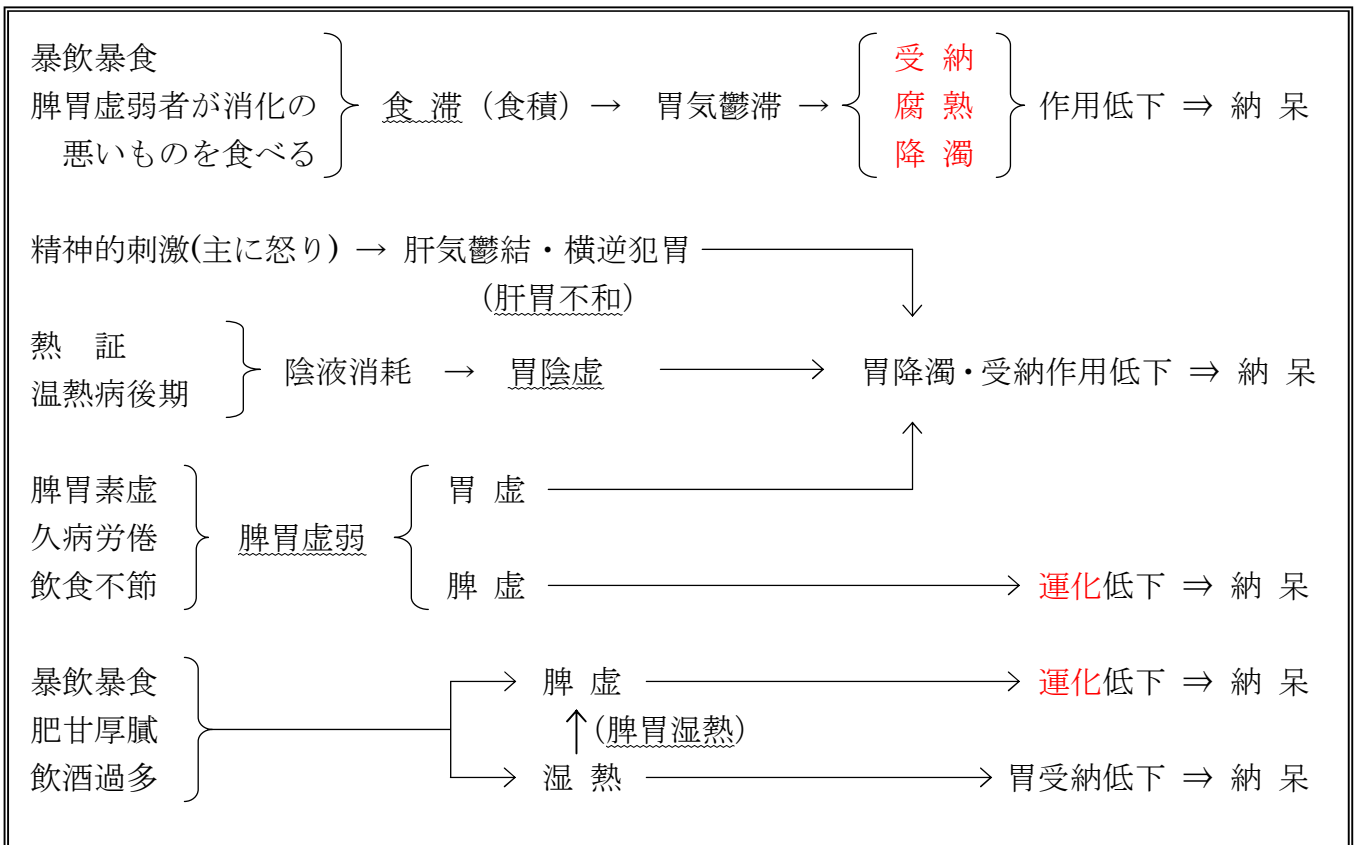
： 東洋医学では食欲不振のことを『 納呆 』と呼ぶ。

また特定の食べ物を嫌ったり、臭いを嗅ぐことすら嫌がるものを『 厭食 』『 悪食 』と呼ぶ。

【 分類 】

- 実証： 肝胃不和、食滞
- 虚証： 胃陰虚、脾胃虚弱
- 虚实挟雑証： 脾胃湿熱

【 病因病機 】



* 臟腑：脾・胃（・肝）の失調

* 病機：脾の運化作用低下 と 胃の受納・降濁作用の低下

【 症状と処方例 】

1. 肝胃不和

[症 状] 食欲不振、悪心。呃逆、噯気、胃・胸肋脹満痛、情緒不安定で怒り易い、溜め息が多い。舌苔薄白または薄黄、脈弦または弦数。

[処方例]

	経 絡	意 義	取 穴 部 位
中 腕	任 脈	降気と胃	神闕穴の上 4 寸
上 腕	任 脈		神闕穴の上 5 寸
梁 門	胃 経		膝を立て、外膝眼穴の下 3 寸
足三里	胃 経		天枢穴の上 4 寸、中腕穴の外 2 寸
太 衝	肝 経	疏肝理気	足背にあり、第 1・2 中足骨底間の前、陥凹部
陽陵泉	胆 経		腓骨頭前下際

2. 食滞

[症 状] 食欲不振、厭食。腹部脹満、酸腐臭を伴う噯気、悪心。食べ物を食べると悪化、嘔吐後軽減或いは症状消失。噯気・失気後軽減。舌苔厚膩、脈滑実。

[処方例]

	経 絡	意 義	取 穴 部 位
中 腕	任 脈	降気と胃	神闕穴の上 4 寸
足三里	胃 経		膝を立て、外膝眼穴の下 3 寸
内 関	心包経	疏通胃腸	大陵穴から曲沢穴に向かい上 2 寸
公 孫	脾 経		太白穴の後 1 寸

3. 胃陰虚

[症 状] 空腹感はあるが食欲がない。口渇はあるが飲みたがらない、唇や舌の乾燥、乾嘔、便秘。舌紅、苔少、脈細数。

[処方例]

	経絡	意義	取穴部位
足三里	胃経	補中生津	膝を立て、外膝眼穴の下3寸
解谿	胃経		足関節前面中央、前脛骨筋腱の外側陥凹部
胃兪	膀胱経		第12胸椎・第1腰椎棘突起間の外1寸5分
太谿	腎経	養陰潤燥	内果とアキレス腱の間陥凹部

4. 脾胃虚弱

[症状] 食欲不振、空腹感がなく食後に膨満する。倦怠疲労感、話すのがおっくう、息切れ。舌淡、脈虚。

[処方例]

	経絡	意義	取穴部位
章門	肝経	補益脾胃	第11肋骨前端下際
脾兪	膀胱経		第11・12胸椎棘突起間の外1寸5分
中腕	任脈		神闕穴の上4寸
胃兪	膀胱経		第12胸椎・第1腰椎棘突起間の外1寸5分
足三里	胃経		膝を立て、外膝眼穴の下3寸

5. 脾胃湿熱

[症状] 食欲不振、厭食、悪心嘔吐。上腹部がつかえて苦しい、軟便でスッキリしない、皮膚搔痒感、浮腫、疲労倦怠感。舌紅、舌苔黄膩、脈濡数または滑数。

[処方例]

	経絡	意義	取穴部位
中腕	任脈	理脾胃	神闕穴の上4寸
足三里	胃経	助運化	膝を立て、外膝眼穴の下3寸
曲池	大腸経	清熱	肘窩横紋の外方、上腕骨外側上顆の前
陰陵泉	脾経	健脾利湿	脛骨内側顆の下、脛骨内側の際、陥凹部
三陰交	脾経		内果の上3寸、脛骨内側縁の骨際